



2021年2月10日

各位

会社名 ソースネクスト株式会社
代表者 代表取締役社長 兼 COO 小嶋 智彰
(コード番号 4344 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 兼 CFO 青山 文彦
電話番号 03 - 6254 - 5231
会社名 ソースネクスト株式会社

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月13日に公表いたしました2021年3月期の業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	16,000	600	600	416	3.06
今回修正予想 (B)	13,000	600	600	416	3.06
増減額 (B - A)	3,000	-	-	-	
増減率 (%)	△13.8	-	-	-	
(参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	17,282	474	537	224	1.65

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間における当社業績につきましては、AIボイス筆談機「タブレット mimi (ミミ)」や自動で文字になるボイスレコーダー「AutoMemo (オートメモ)」など IoT 製品の新作を次々に発売しました。更に内閣のテレワーク推進の背景を受けて、当社では360°カメラとエコーキャンセリングマイク、スピーカーを搭載した会議室用 web カメラ「Meeting Owl (ミーティングオウル)」を発売し、好評を博しました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、海外旅行や観光施設・店舗のインバウンド対応等での需要減少が期初想定を超え継続したことにより、主力製品である AI 通訳機「POCKETALK (ポケットーク)」の売上高が減少し、当初想定と乖離が生じていることを踏まえ、通期の売上業績予想を修正することといたしました。

第4四半期では、テレワーク関連製品並びに「Meeting Owl」を始めとする新作 IoT 製品の展開を拡大することで通期の売上高及び売上総利益にかかる影響を最小限に抑える所存です。

「Meeting Owl」は国内では日本経済新聞社が主催する第39回「日経優秀製品・サービス賞」において「2020年日経優秀製品・サービス賞 日経産業新聞賞」を受賞しました。昨年11月末には角川アスキー総合研究所開催の「ASCII BESTBUY AWARD2020 WEBカメラ部門」に選出され「効率の良いオンライン会議ができる、いま、オススメできる商品」と評価をいただいております。今後益々の需要が期待されると見込んでおります。

更には、当社が業務・資本提携している米国 Molekule 社の空気清浄機「Molekule (モレキュル)

Air Mini+」に加えて、本日には33畳（約54㎡）の空気清浄に対応する「Molekule Pro」の発売も発表しました。本製品はPECO(光電気化学酸化)フィルターにより、空気中の物質を分子レベルで分解できる空気清浄機です。一回フィルターを通過させるだけで、通過した空気に含まれるウイルスを99%以上除去するテスト結果も発表しております。

両製品は自社オンラインショップでの販売だけでなく家電量販店での展開も実施することで販売チャンネルを多角化し、売上拡大に繋げて参ります。

販売費及び一般管理費につきましても上期に続き営業活動の範囲や影響を見据えた上で、引き続き効果的な削減を図る所存であることから、各利益につきましては期初予想の据え置きとさせていただきます。

今後もテレワーク関連のソフトウェア・サービス、ハードウェアや新たなIoT製品をスピーディに提供し、製品の多角化を推進することによって、経済環境の急激な変化にも強い経営基盤を構築してまいります。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

以上